

公的資金の繰上償還について(下水道事業)

1. 概要

- ・高金利企業債の公債費負担を軽減するため、徹底した経費削減等を内容とする公営企業経営健全化計画を策定し、経営改革を行う事業を対象として、補償金なしで公的資金の繰上償還を認めるもの。
 - ・平成19年度から3年間実施されたが、平成22年度より更に3年間、対象となる起債の範囲が拡大され、平成23,24年度に繰上償還を行った(平成22年度は対象起債なし)。
- ※繰上償還の財源としては、民間資金での借換債を発行し対応した。

2. 本市公共下水道事業の繰上償還対象の企業債

年利5%以上の旧資金運用部資金、旧公営企業金融公庫資金、旧簡易生命保険資金

3. 繰上償還額の実績

- ・当初計画では、平成23,24年度の2年間で総額約32億円の繰上償還を行う予定であったが、平成24年度の総務省による補償金免除繰上償還額の減額調整に伴い、一部計画を見直し、**総額27億円の繰上償還を行った。**
- ・償還終了年度(H33)までの**利息軽減額は約6.3億円となった。**

○年度別繰上償還額 (単位：百万円)

		平成23年度	平成24年度	合計
計画	下水道事業債	2,162.2	1,013.4	3,175.6



実績	下水道事業債	2,162.2	570.4	2,732.6
----	--------	---------	-------	---------

○資金区分別・利率別償還額 (単位：百万円)

		年利5.0~6.0%	年利6.0%以上	合計
計画	旧資金運用部資金	79.4		79.4
	旧公営企業金融公庫資金	1,680.1		1,680.1
	旧簡易生命保険資金	934.0	482.1	1,416.1
	合計	2,693.5	482.1	3,175.6



実績	旧資金運用部資金	79.4		79.4
	旧公営企業金融公庫資金	1,680.1		1,680.1
	旧簡易生命保険資金	491.0	482.1	973.1
	合計	2,250.5	482.1	2,732.6

4. 経営健全化計画の執行状況

今後の財政状況の見通し

→累積収支及び企業債残高は経営健全化計画を上回る見通し

- ・累積収支 ……平成26年度末で**累積欠損金を解消**
- ・企業債残高 ……平成27年度末で**1,500億円以下に減少**

○財政計画

(単位：百万円)

		H23	H24	H25	H26	H27
計画 (当初)	事業収益	13,385	13,540	13,583	13,510	13,380
	事業費用	13,339	13,316	13,312	13,396	13,329
	当年度純損益	46	224	271	114	51
	累積収支	▲1,725	▲1,501	▲1,230	▲1,116	▲1,065
	企業債残高	164,305	160,999	157,668	154,269	150,021



(単位：百万円)

		H23(実績)	H24(実績)	H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)
計画 (見直し)	事業収益	13,383	13,299	13,250	18,194	17,094
	事業費用	12,988	12,682	12,853	17,416	16,478
	当年度純損益	395	617	397	778	616
	累積収支	▲1,376	▲759	▲362	416	1,032
	企業債残高	164,074	160,012	157,582	152,923	147,744

※会計基準見直し影響

- ・H26以降は会計基準の見直しに伴う長期前受金戻入の計上等により収支が改善

※その他の収支影響

- ・企業債発行額の抑制及び借入利率の低下による支払利息の減
- ・修繕費、流域下水道負担金など経費の減

※企業債残高の影響

- ・設備投資計画の見直しに伴う企業債借入額の抑制により残高が減少